

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか、…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

思考スキル

○情報じょうほうを獲得かくとくする

- ・問題文から情報や問題の条件を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

○再現する

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示通りの操作そうさを正しく行う

○調べる

- ・方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、法則を発見する

○順序すじみち立てて筋道すじみちをとらえる

- ・変化する状況を時系列で明らかにする
- ・複雑な状況を要素ごとに順序立てて整理する
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

○特徴とくちょう的な部分ぶぶんに注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立った部分(計算式の数、素数、約数、平方数、…など)に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性たいしょうせいに注目する
- ・規則や周期に注目する

○一般化する

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

○視点してんを変える

- ・図形を別の視点で見るとらえる
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

○特定の状況を仮定する

- ・極端きょくたんな場合を想定して考える(もし全て○なら、もし○○がなければ、…など)
- ・不足みそを補ったり、余分を切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数のものが移動するとき、特定のものを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答の範囲はんいや大きさの見当をつける

思考スキル

○知識

- ・情報を手がかりとして、持っている知識を想起する
- ・想起した知識を正しく運用する

○理由

- ・筆者の意見や判断の根拠を示す
- ・ある出来事の原因、結果となることを示す
- ・現象の背後にあることを明らかにする

○置き換え

- ・問いを別の形で言い表す
- ・問題の状況を図表などに表す
- ・未知のものを自分が知っている形で表す
- ・具体的な数と比を自由に行き来する

○比較

- ・多角的な視点で複数のことがらを比べる
- ・複数のことがらの共通点を見つけ出す
- ・複数のことがらの差異を明確にする

○分類

- ・個々の要素によって、特定のまとまりに分ける
- ・共通点、相違点に着目して、情報を切り分けていく

○具体・抽象

- ・文章から筆者の挙げる例、特定の状況や心情を取り出す
- ・ある特徴を持つものを示す
- ・個々の事例から具体的な要素を除いて形式化する
- ・個々の事例から共通する要素を取り出してまとめる

○関係づけ

- ・情報どうしを結び付ける
- ・要素間の意味を捉え、情報を補う
- ・部分と全体のそれぞれが互いに与えあう影響に目を向ける
- ・ある目的のための手段となることを見つけ出す

○推論

- ・情報をもとに、論理的な帰結を導き出す
- ・情報をもとに、未来・過去のことを予測する
- ・情報を活用して、さらに別の情報を引き出す

小学6年 適性検査D — 解答と解説

1

問1		問2			問3			問4					
7	2	キ	3	オ	エ、オ			あ、い、て					
21		22			23			(完答) 24			(完答) 25		

問5																
ア	1	イ	8	ウ	10	エ	3	オ	10	カ	6					
26		27			28			29			30			31		

問6											
イ → オ → ウ → ア → カ → エ											
(完答) 32											

【例】 問7														
入	園	者	が	持	ち	こ	ん	だ	と	考	え	ら	れ	る
外	来	植	物	種	に	よ	っ	て	、	生	態	系	に	え
い	き	よ	う	が	お	よ	ん	だ						
(完答) 33														

【例】 問8																	
小	笠	原	諸	島	の	自	然	遺	産	を	守	る	た	め	に	、	1
年	間	に	小	笠	原	諸	島	を	訪	問	で	き	る	人	数	を	制
限	す	る	べ	き	だ	と	思	う	。	旅	行	者	数	が	増	え	な
け	れ	ば	、	自	然	を	破	か	い	す	る	人	も	少	な	く	な
り	、	外	来	植	物	種	も	入	り	に	く	く	な	る	と	思	う
か	ら	だ	。														
(完答) 34																	

(配点)
 ①
 問1、問2……各3点
 問3、問4……各4点
 問5……各2点
 問6……5点
 問7……6点
 問8……10点

2

【例】 問一														
部	分	を	拡	大	し	て	見	よ	う	と	す	る	な	ら
ば	、	世	界	全	体	を	同	じ	倍	率	で	拡	大	し
て	考	え	な	け	れ	ば	な	ら	ず	、	手	間	が	相
当	か	か	る	と	い	う	こ	と						
(完答) 35														

②
 問一1……10点
 問一2……8点
 問二……32点
 計100点

【例】		問一													
2	拡	大	し	て	見	た	分	だ	け	、	世	界	に	対	す
	る	理	解	が	増	し	た	よ	う	な	気	に	な	る	。

【例】		問二																
	私	は	、	そ	の	日	の	出	来	事	に	つ	い	て	日	記	を	
	つ	け	て	い	る	。	日	記	を	書	く	と	、	出	来	事	が	お
	こ	っ	た	時	と	は	ち	が	う	気	持	ち	に	な	る	こ	と	が
	あ	る	。	以	前	、	友	人	と	け	ん	か	を	し	た	時	の	こ
	と	を	日	記	に	書	い	た	。	け	ん	か	を	し	て	い	る	最
	中	は	、	自	分	は	悪	く	な	い	と	思	っ	て	い	た	が	、
	け	ん	か	の	い	き	さ	つ	を	日	記	に	書	き	だ	し	て	み
	る	と	、	自	分	に	も	非	が	あ	っ	た	の	で	は	な	い	か
	と	思	い	始	め	て	き	た	。									
	け	ん	か	と	い	う	出	来	事	を	体	験	し	た	の	も	、	
	そ	の	こ	と	を	日	記	に	書	い	た	の	も	、	ど	ち	ら	も
	自	分	で	あ	る	。	だ	か	ら	、	そ	う	い	う	意	味	で	は
	私	の	友	人	と	の	け	ん	か	と	い	う	出	来	事	に	対	す
	る	視	点	は	一	つ	で	あ	る	。	し	か	し	、	時	間	を	お
	い	た	こ	と	で	、	自	分	に	も	非	が	あ	っ	た	と	い	う
	別	の	視	点	に	気	づ	い	た	。	こ	の	体	験	か	ら	、	物
	事	に	つ	い	て	考	え	る	時	、	時	間	を	お	い	て	考	え
	る	と	、	そ	れ	ま	で	気	づ	か	な	か	っ	た	別	の	視	点
	に	気	づ	け	る	よ	う	に	な	る	と	い	う	こ	と	を	学	ん
	だ	。																

【解説】

① 世界遺産をテーマにした問題

問1 B1 情報を獲得する 置き換え 分類

世界遺産が何年連続で登録されているかを調べる問題です。資料1の表には登録年が元号で書かれています。西暦年に直して考えてもかまいませんが、元号で考える場合は元号の見方に注意が必要です。平成は31年(2019年)の4月30日で終わり、5月1日から元号が令和になりました。したがって、登録年で見ると平成30年の次の年は令和元年となります。表を調べると、平成25年から令和元年まで7年連続で日本の世界遺産が登録されていることがわかります。

問2 B2 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 分類

空らんにあてはまる地方の名を選ぶ問題です。資料をよく調べて答えましょう。

2には世界遺産の登録がない地方の名があてはまります。資料1の所在地を見ると、四国地方にあたる香川県、徳島県、愛媛県、高知県が含まれていません。したがってきの四国地方が正解です。

3には、世界遺産の登録数が最も多い地方の名があてはまります。3のすぐ後に「古くから政治の中心だったところが多かった地方」というヒントが書かれています。また、資料1の所在地はほぼ地方ごとに分けられているので、それも手がかりになります。世界遺産の登録数が最も多いのは、6つが登録されている近畿地方です。

問3 B1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 分類

資料2の世界遺産の登録基準は、文化遺産と自然遺産に分けることができます。文化遺産とは、人の手によって作られた文化を後世に残すもので、自然遺産は人の手が加えられることなくそのままの自然が残されているものです。アは「人間の創造的才能を表す」点で文化遺産の基準にあたります。イは「文化的伝統または文明の存在」という部分が文化遺産の基準にあたります。ウは「歴史上の重要な段階をものがたる建築物や科学技術」という部分が文化遺産の基準にあたります。エは「生態系や動物の進化の過程を表す」という部分が自然遺産の基準にあたります。オは「絶滅のおそれがある種の生息地などになっている」という部分が自然遺産の基準にあたります。

問4 B2 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 分類

資料1のあ～ぬのうち、小笠原諸島以外で自然遺産にあたるのはあの「知床」、いの「白山山地」、ての「屋久島」です。表にある「登録された主な理由」が生態系の進化の過程を表すもの、または絶滅のおそれがある種の生息地にあたるものを選ぶようにします。

問5 **B1** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 置き換え 分類

資料3の世界遺産の所在地がどの都道府県にあたるかを調べる問題です。資料をよく見くらべて答えましょう。

ア…資料1を見ると「中尊寺金色堂」という部分から、うの「平泉(岩手県)」だとわかります。したがって、1が正解です。

イ…「仁徳陵古墳(大山古墳)」という部分から、その「百舌鳥・古市古墳群(大阪府)」だとわかります。したがって、8が正解です。

ウ…「平城京」という部分から、すの「古都奈良の文化財(奈良県)」だとわかります。したがって、10が正解です。

エ…「日光東照宮」という部分から、えの「日光の社寺(栃木県)」だとわかります。したがって、3が正解です。

オ…「法隆寺」という部分から、この「法隆寺地域の仏教建造物(奈良県)」だとわかります。したがって、10が正解です。

カ…「姫路城」という部分から、さの「姫路城(兵庫県)」だとわかります。したがって、6が正解です。

問6 **B2** 情報を獲得する 置き換え 特徴的な部分に注目する

資料3の【ヒント】から、それぞれの文化遺産の年代を調べ、年代の古い方から順に並べかえる問題です。年代をわかりやすくするために、西暦年で統一するとよいでしょう。

ア…「今からおよそ1000年前」という部分から、1000年ごろとわかります。

イ…「5世紀後半」という部分から、450年ごろとわかります。

ウ…「今からおよそ1300年前」という部分から、700年ごろとわかります。

エ…「今からおよそ400年前」という部分から、1600年ごろとわかります。

オ…「平城京に都が移されるおよそ100年前」という部分と、ウより平城京に都が移されたのが700年ごろという2つから、600年ごろとわかります。

カ…「16世紀の終わりころ」という部分から、1590年代くらいだとわかります。

それぞれを年代に古い順に並べると、イ(450年) → オ(600年) → ウ(700年) → ア(1000年) → カ(1590年) → エ(1600年)となります。

問7 **B2** 情報を獲得する 理由 推論

希少な種が絶滅の危機にさらされた原因についてまとめる問題です。資料から、ガラパゴス国立公園の入園者が9万人を超えた2003年ころから外来植物種が増加していることがわかります。ガラパゴス国立公園に入ってきた外来植物種によって、ガラパゴスの生態系がこわされたため、希少な種が絶滅の危機にさらされたと考えられます。

この問題では、①希少な種が絶滅の危機にさらされた理由について書かれているか、②①の内容に過不足がなく、読み手が内容を補う必要がないかどうか、③表記や表現に誤りがないかどうかを中心にしています。

問8 C1 情報を獲得する 理由 具体・抽象 推論

ガラパゴス諸島と小笠原諸島を比較して、ガラパゴス諸島と同じことが小笠原諸島で起こらないようにするための取り組みと、そう考える理由を記述する問題です。ガラパゴス諸島と小笠原諸島に共通することは、その場所にしかない希少な生物が生息しているということです。ガラパゴス諸島ではそこにしかない希少な生物がガラパゴス国立公園の入園者が持ちこんだとみられる外来植物種によって絶滅の危機にさらされました。小笠原諸島で同じことを起こさないためには、外来植物種を持ちこまない対策をとることが必要だと考えられます。そのためにどのようなことをすればよいか、自分の考えをまとめてみましょう。

この問題では、①小笠原諸島で行うとよい具体的な取り組みについて書かれているか、②①の理由が書かれているか、③①②の内容に過不足がなく、読み手が内容を補う必要がないかどうか、④表記や表現に誤りがないかどうかを中心にしています。

2 文章を読んで筆者の考えをとらえ、自分の意見を述べる問題

問一-1 B2 情報を獲得する 置換 関係づけ

指示語の指し示す内容を具体的に答える問題です。指示語の指し示す内容は、指示語の前に書かれている場合が多いです。すると、初めから二段落目と三段落目の内容がそれにあたります。ここで注意すべきことは、三段落目の冒頭の「それを忘れる人が多い」の「それ」と一線の「そこ」が指し示す内容は異なることです。三段落目の「それ」は、虫を百倍拡大したら、世界も百倍にしたということを指し示しています。一線の「そこ」は、百倍になった世界を見るのに百倍の手間がかかるということを指し示しています。これらの内容を過不足なくまとめられたか確認しましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 「そこ」の指し示す内容が具体的に書かれているか
- ② ①に過不足がないか
- ③ 表記や表現が正しいか

問一-2 B1 情報を獲得する 理由 関係づけ

一線「そこを忘れる」ことでどのような結果になるのかを答える問題です。一線の後に「だから」とあります。「だから」は、前に述べた事柄を受けて、それを理由として順当に起こる内容を導く働きがあります。したがって、この直後の「拡大して精密に観察したら理解

が増した、と思ってしまう」が結果の内容であるとわかります。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 「そこを忘れる」ことでどのような結果になるのかが書かれているか
- ② ①に過不足がないか
- ③ 表記や表現が正しいか

問二

C2 情報を獲得する 理由 関係づけ 具体・抽象 推論

ものを見る視点はさまざまあります。この文章では、部分を拡大して見ることについて述べられています。部分を知ると全体がわかったような気がするけれども、部分が精密にわかった分だけ全体も見なくてはわかったことにならないのではないかという、筆者のものを見る視点に対する投げかけが読み取れます。このことをふまえて、ものを見る視点についてあなたが体験したことを記述します。

第一段落では、ものを見る視点はいろいろあることを実感したあなたの体験について書きます。どのような点で「ものを見る視点はいろいろあることを実感した」のかを明確にして書きましょう。

第二段落では、第一段落に書いた体験から、あなたがどのようなことを学んだかについて書きます。体験したことにもとづき、あなたが学んだ教訓などを自分の言葉で説明するようにしましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

第一段落について

- ①A ものを見る視点はいろいろあることを実感した体験について書かれているか
- ①B 内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

第二段落について

- ②A ①に書いた経験から、どのようなことを学んだかが書かれているか
- ②B 内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

全体について

- ③ 段落が問題の指示に従って分けられているか
- ④ 答案用紙の使い方が正しいか
- ⑤ 誤字・脱字・送り仮名、仮名遣いの誤りがないか
- ⑥ 字数制限が守られているか